



info

[Sys:port]

第27号 2010年3月発行

## ごあいさつ

2月18～19日の「京都ビジネス交流フェア 2010」には多数ご来場下さいまして有り難うございました。参考になる展示はありましたでしょうか。

さて、年度末の3月となりました。年度末の慌ただしさを感じながら年度末需要が出て来ないかなあ…、新しい年度を迎えたらちょっとは良くなるかなあ…、などと思っているのは私だけでしょうか。本年度の積み残しがないようにやらなければならないことを仕上げましょう。

シスポート株式会社 代表取締役 米田 明

## 連載企画 “一丁嚙” が行く！ 第26回：大きいことは…??

キリンとサントリーの“縁談”が破談になりましたね。統合比率が折り合わなかったと報じられていますが、創業家ががっちり力を持つ非公開企業と、サントリー創業家の影響力を排除したいキリンとの思惑の違いやそれぞれの企業文化の違いが障壁だったのではないのでしょうか。

経営統合と言えば、近年だと玩具のタカラとトミー、ゲームのバンダイとナムコなどがありますが、いつか知らないうちに合併していたなんてこともありますね。

なぜ、そんなに一緒にになりたがるのでしょうかね。

グローバル戦略だと言われそうですが、銀行もあれよあれよという間に統合してしまっ、都銀はいまや4行（みずほ、三菱東京、三井住友、りそな）になってしまいました。

昔、私が社会に出た頃は『都銀は13行』と教わりました。

と、ここまで書いてくるとやたら気になりました。昔の13行はいまはどこの銀行になっているのかと。（一丁嚙（いっちょかみ）ゆえに気になったことはすぐに一丁嚙みます！）

早速ネットで調べてみました。

富士銀行、第一勧業銀行（現・みずほ銀行）

三井銀行、住友銀行、太陽神戸銀行（現・三井住友銀行）

三菱銀行、三和銀行、東京銀行、東海銀行（現・三菱東京UFJ銀行）

大和銀行、協和銀行、埼玉銀行（現・りそな銀行）

北海道拓殖銀行（経営破綻）

なるほどねえ・・・と改めて認識しました。

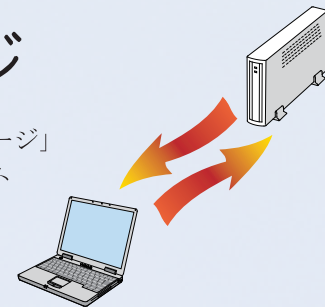
この大企業の合併（統合）と市町村の合併はあまり関係はないのですが、「大きいことはいいことだ！」という風潮は如何なものなのでしょうか。

## 特集

# オンラインストレージ

インターネットを利用したサービスに「オンラインストレージ」というものがあります。おおざっぱにいうとインターネットにつながっていれば利用できるUSBメモリーのようなものです。

オンライン（＝インターネットにつながっている）のストレージ（＝外部記憶装置、ハードディスクとか、USBなど）装置です。



- ・自分用のファイルをUSBメモリーにバックアップしているが、壊れないかどうか不安だ。  
→USBメモリーのほかにオンラインストレージにバックアップを残しておけば、二つのバックアップを残せます。メーカーによっては、自動的に同期をとってくれるものもあります。

- ・たとえば、デジカメで撮った写真を友達に見せたいけどカメラじゃ小さいし印刷したものを持っていくのは煩わしい。

- パソコンがあれば、インターネットに接続して、ディスプレイで一緒にみることができます。メーカーによってはスライドショー機能があります。

などなど、いろいろな使い方ができると思います。

以下にいくつか、オンラインストレージをご紹介します。

- ・DROP BOX <https://www.dropbox.com/>

専用ソフトをインストールして利用します。特徴は、自動的に同期をとってくれることです。転送はあまり意識することはありません。2GBまでは無料。海外のサイトですが、ユーザー登録がすごく簡単です。個人的にはお勧めです。

- ・Google Docs (Google ドキュメント) <http://docs.google.com/>

インターネットで検索するときに利用する、GOOGLE社のサービス。1GBまで無料でファイルのアップロードはブラウザで行います。簡単なユーザー登録が必要です。またgoogleAPPSというもので、ドキュメントや表計算ファイルの共同作業が可能です。

- ・Windows Live SkyDrive <http://skydrive.live.com/>

MIROSOFT社のサービス。データは個人用、共有用、公開用の3つのレベルを指定して保存できます。また、ドラッグ&ドロップで気軽にデータの受け渡しができるのが特徴。転送にSSLが使われていたり、『セキュアな』オンラインストレージです。容量は25GBまで利用可能で最大転送ファイルサイズは50Mとなっています。また、Windows Live IDが必須で、ActiveXのインストールが必要です。

このほかにも、国内ではリコー社の [quanp](http://www.quanp.com/) <http://www.quanp.com/>（「クオンプ」1GBまで無料、ビジュアル的に面白い専用ソフトを利用）などもあります。

探すとまだまだ沢山ありますので、検索してみてください。

## 読者 訪問



## 訪 問 先

会 社 名：有限会社 フットクリエイト  
業務内容：フットウェア全般、インソール製造販売、靴販売  
住 所：〒600-8151 京都府京都市下京区打越町 318  
面 談 者：櫻井 一男 さん  
TEL：075-365-3748 FAX：075-365-3751  
URL：http://www.footcreate.com  
e-mail：1192@footcreate.com

第2回目の今回はサポートユーザーでもあるフットクリエイトさんをお訪ねしました。開口一番、「歩いて健康、元気で百歳！」と同社のお店のテーマからお話が始まりました。

フットクリエイトさんは靴屋さんであることには違いないのですが、そこらへんの靴屋さんとは靴に対するこだわりがまったく違います。単に靴を売るというのではなく、いい靴を履いていただくことによってお客様の健康をサポートしていくんだという大きな使命を担っておられます。



『足は第二の心臓だ』と櫻井さんはおっしゃいます。

足の筋肉は伸び縮みすることによって心臓から送られてきた血液を押し戻す働きをする、つまりポンプの役目をするので第二の心臓だとおっしゃるのです。

そして、第二の心臓の役割をしっかりと果たしてもらうためには歩かないといけません。しかし、ただ歩けばいいというものでもない。間違った靴で歩くとかえって膝を痛めたりなどというトラブルになりかねない。ヘタをしたら身体の機能を奪うものにもなりかねない。だから自分の足にぴったりと合った靴でしっかりと歩くことが健康面でも大切だと。特に女性は小さめの靴を履く傾向があり、『履いているうちに伸びますよ』などと言われたことを鵜呑みにしない、合わないのは自分の足のせいだと思わない、合わない靴を何足も買わないことが重要だとおっしゃいます。

ファッションアイテムとしての靴も必要だが、普段は自分の足に合った靴を履くようにしなければならない。そして、そのためには靴を販売する側もお客さん毎にどんな靴が合うのかをしっかりと把握しておく必要があるとおっしゃいます。



お客さん毎のデータを管理する顧客管理の重要性を早くから認識された櫻井さんは、早くからコンピュータによる顧客管理を試みられました。購買履歴をはじめとする顧客毎の個人データを収集・蓄積し、必要なときに素早く簡単に引き出せることが『かかりつけの靴屋さん』になるためには必要と、知人に頼んでソフトを作ってもらったものの、なかなか思うようにできあがらない。

他の業者にメンテナンスをしてもらったら動かなくなった。仕方がないので市販のソフトを導入したもののやりたいことが出来ない。手直しを頼んだらえらく高い見積りが来た。というような経緯を経て、サポートが対応させてもらうことになりました。

今まで使っておられたキャッシュドローやレシートプリンターはそのまま使い、櫻井さんのご要望を極力取り入れた店頭顧客管理システムが完成しました。

『これがあることで“かかりつけの靴屋さん”を全うできる』と言っていました。

帰りがけにボソッとひと言、『まだまだ改良要望はあるけどな・・・』

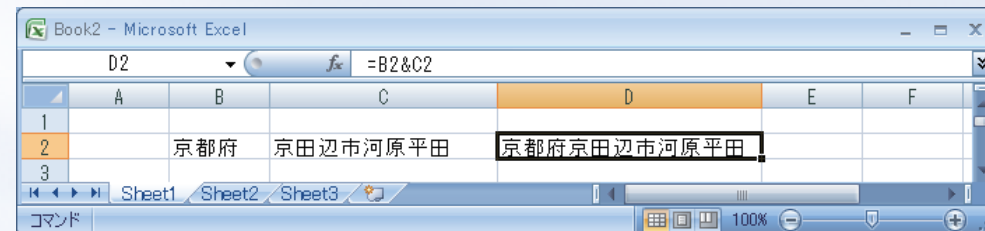
「システムは小さく産んで大きく育てましょう！カスタマイズ対応はいつでも応じますよ」と言い残して帰路につきました。

# Excel ワンポイント講座

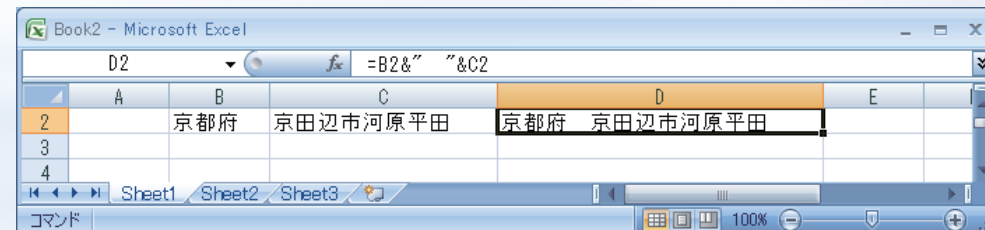


結合したいセルを&でつなげれば簡単に結合ができます。

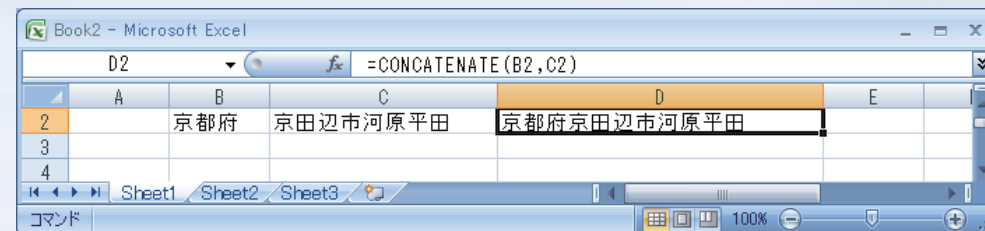
- ① 結果を表示したいセルに「=」を入力し
- ② 連結したいセルをクリック
- ③ 「&」記号を入力して
- ④ 連結したいセルをクリックして enter を押します。



また、間に文字やスペースを入りたい場合は、「””」（ダブルコーテーション）で文字やスペースをくくって入れます。



関数を使用することもできます。



## サポート TOPICS

- 2月23日(火) テーマ：小規模製造業のムダを省きムリを正す（仮称）  
「SBC セミナー」 会 場：キャンパスプラザ（京都駅前）  
（共催：尙中小企業診断所） 参加費：1,000 円

発行 [Sys:port] シスポート株式会社

〒610-0361 京都府京田辺市河原平田23-16  
TEL (0774)-63-1131 FAX (0774)-63-1130  
e-mail info@sysport.co.jp  
HomePage http://www.sysport.co.jp



‘SOFT-YA’

‘IT-YA !’

第27号 2010年3月発行